

野田内閣のもと憲法審査会が始動 自民政改憲論本格化、4月にも草案発表

「あいち医師・歯科医師九条の会」第13回憲法の集い

どうなる憲法、どうする憲法 ～野田内閣となって パート2～



講師 **森 英樹氏**

(名古屋大学名誉教授、あいち九条の会代表世話人、憲法学)

とき **2月18日(土)午後3時～5時**

ところ **名古屋クラウンホテル「錦」**

(名古屋市中区栄1-8-33、電話052-211-6633)

野田内閣となって、憲法審査会始動、武器輸出三原則緩和、衆院比例定数削減など、自民党政権でもできなかったことが、次々着手されています。憲法学の森英樹氏を迎え、憲法をめぐる情勢がどうなってゆくのか、私たちの課題は何か学びます。

参加協力費：

医師・歯科医師 1000円
一般市民 500円

主催：あいち医師・歯科医師九条の会

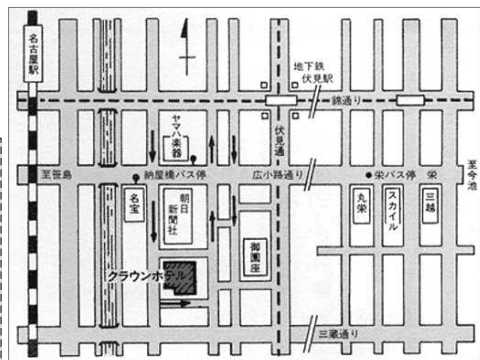
連絡先：名古屋市昭和区妙見町19-2

愛知県保険医協会気付

FAX 052-834-3512 電話 052-832-1345

共催：愛知県保険医協会

森英樹（もりひでき）氏 プロフィール
1942年三重県生まれ。京都大学法学部卒。名古屋大学大学院法学研究科修士課程修了。
名古屋大学法学部教授・同大学副総長、龍谷大学大学院法務研究科教授を歴任。『憲法の平和主義と「国際貢献」』（新日本出版社）、『現代憲法講義』（法律文化社）、『新版・主権者はきみだ』（岩波ジュニア新書）など著書多数。



2009年の民主党政権への交代は、国民に痛みを押付ける新自由主義的「構造改革」への批判と同時に、安倍内閣が改憲手続き（国民投票 法案を強行し2010年憲法改定を目指した「タカ派」ぶりへの恐怖感もあった。したがって民主党政権になって直後は、「改憲論」も下火となった。しかし2011年3月の東日本大震災以降、大震災への政府の対応の遅れを、「現憲法の不備」などとする論も飛び出し、再び「改憲論」が息を吹き返している。民主・自民・公明・みんな・国民新・たちあがれ日本などの、改憲派議員でつくる新憲法制定議員同盟は、4月28日に「新しい憲法を制定する推進大会」を開催した。ここでは鳩山前首相（5月に同盟顧問に復帰）は、「憲法改正を行う大きなきっかけの年としたい」と述べ、自民党の大島副総裁は「今年憲法改正で全力をあげる認識で、改正試案の詰め作業を急いでいる」と延べた。野田内閣となって「憲法審査会を始動させない」と公約してきた民主党が、予算審議などで自民・公明の協力を得

るためにと方針を転換、2010年10月20日、衆参両院の憲法審査会の委員が初めて選任され、2007年8月の設置から4年を経て審査会は始動した。自民党の憲法改正推進本部は、12月22日起草委員会を開き、日本が武力攻撃を受けた時、大規模災害が発生した場合、首相に強力な権限を与える「緊急事態条項」を設ける方針を確認した。4月のサンフランシスコ講和条約発効60周年を機に草案をまとめる。2011年の年末押し迫って野田内閣は、「武器輸出三原則」を緩和し、国際共同開発・生産と人道目的での武器など装備品の供与を解禁することを決めた。また防衛・外交・治安の重要情報漏洩防止のための「秘密保全法」を、厳罰化する法改正などを通常国会に提出することも決めた。野田内閣となって危険な動きが矢継ぎ早です。10月につづいて野田内閣となつての「どうなる憲法どうする憲法」を、パートIIとして森先生からお話を聞きます。ぜひお出かけ下さい。

武器輸出三原則緩和、秘密保全法強化など、 危険な動きが矢継ぎ早に

あいち医師・歯科医師九条の会ニュース

第20号

2012年1月17日発行

名古屋市昭和区妙見町19の2、
愛知県保険医協会内
あいち医師・歯科医師九条の会
〒466-8655
電話 052-832-1345
FAX 052-834-3512

あいち医師・歯科医師九条の会

「第12回憲法のつどい」(2011.10.22)

～返信ハガキへのひとことから～

・憲法九条は守るのが当然の事です。この会の益々の発展をお祈りしています。水田先生、雨宮様のお話も絶対聞きたかったのですが、都合がつかなくて残念です。原発の事とか、九条に反対の人とか、日本はどうなっていくのかがとてもとても心配です。九条を守る会から草の根運動の様に根気に国民に伝えていくのを期待しています。森先生のお話は聞きたいと思って居ります。(M・I、瑞穂区)

・戦争(ゲリラも含む)が起きるのは当事者にその「必要」があるからです。主な事情は貧困・圧政、それに宗教など。正義というものは後から付きます。金持ち同士はケンカしないし、取るに足りぬものを取ろうとする人はない。相手が欲しいものを見て、与えてやるのが争いにならぬための良策。三国干渉やA B C D包囲陣に対し窮鼠が猫を噛み損なった歴史があります。相手の事情を調べて何をあてがうべきか考えるのは外務省と通産省の仕事で、ここが確りしていれば武力の出番は無い筈。自分たちだけが「戦争はしない、しない」と唱えても実効は期待し得ない。身の皮剥いでも相手に着せてやる構えか。あとは教育の問題ですか。(I・O、東海市)

・アスベストでの時代錯誤判決など司法の反動化がみられています。反原発、とくに九条の会の前進に役立ちたいと思います。(J・H、瑞穂区)

・最近大学の同窓会の雑誌に寄稿したもののコピーです。人間が政治、経済その他あらゆる分野で少しく傍若無人のふるまいが目立ってきて不安です。何が原因なのか分かりませんが、人間の変質が問題であることは確かでしょう。知能の進化が早すぎて、理性、感性の成熟が遅れているように愚考しています。(以下コピー)

「今回の福島原発事故も全くの人災である。この地震列島の沿岸に54基もの原発が作られていたことを知らなかったの

は、不勉強のそしりを免れないが、使用済み核燃料の再処理方法もその具体案もないままに、毎日これを運転し続け、放射性塵を山積みにしていた者達ほどのような神経の持ち主であろうか。核の平和利用とふれ込んで、ひとつ間違えば広島原爆100個以上に匹敵する原発を、その道の専門家が、独占企業が、国が、どうしてなんの疑問も抱かずに、

なんの説明も無しに稼働させていたのだろうか。これはもう未必の自然破壊であり、未必の殺意と言っても過言では無からう。何故人間はこのなんにも人間自身や他の生き物や地球の未来を思いやる心を失ってしまったのだろうか。自分たちの好奇心や欲望のために自然を破壊し、生態系を乱すことが結局は自分達の終焉につながると言うことが何故わからなくなったのだろうか。」(K・K、知多郡)

・東日本大震災と原発事故からの復興の合言葉の下に大連立の方向への動きが加速度的に進むのではと心配です。国民への政治的なアップヒールを強めること、科学的なエネルギー政策の在り方を理解して頂くことが大切な力になると思います。(T・N、港区)

・平和の有難さを実感する教育が若い世代に必要なのではないかと思います。私も戦後世代ですが、戦争の悲惨さを知らない若い世代が増えているので命の大切さが希薄になっているのでは?と思います。(Y・Y、天白区)

・9条の会ニュース(9月20日発行)の記事“――9条を守る草の根の運動が必要である。”とありますが、全くその通りであると思います。ところで9条を守った場合、自衛隊は存在しないことになります。その場合安全保障が必要と多くの人は考えます。それに対して全国の9条の会の人達は、“安全が心配である”と考える人を、納得させるような説明、提案ができません。このことが護憲運動上最大の問題であります。9条の会はこの問題に、もっともつとエネルギーをそぐべきであると思います。私は9条を守り、自衛隊を廃止し、国連日本中流部隊を創設する構想を提唱しています。(Y・I、名東区)

あいち九条の会 結成7周年のつどい

2月25日(土) 午後1時30分～4時30分
名古屋市中川区役所・講堂

(地下鉄東山線「高畑」下車、3番出口から北東200m徒歩3分)

◆報告・交流 活動の経過と今後1年間の活動について

※入場無料

主催：あいち九条の会

名古屋市中区丸の内2-18-22、三博ビル・第一法律事務所気付

電話052-211-2236

憲法施行65周年記念 市民のつどい

「新しい国のかたちを問う」

◆と き：5月3日(憲法記念日) 開場12:15 開演13:00

◆会 場：名古屋市公会堂 (JR中央線・地下鉄鶴舞線「鶴舞」駅下車)

◆第一部・講演

講 師：伊藤 真氏

(伊藤塾〈法律資格の受験指導校〉塾長、弁護士)

テーマ：「今こそ『憲法の力』をつけよう！ ～今を生きる私たちの責任」

◆第二部・コンサート

ナターシャ・グジー

(ウクライナ生まれ。6歳のとき、チェルノブイリ原発事故で3.5キロ地点で被曝。美しく透明な水晶の歌声と哀愁を帯びたバンドゥーラの可憐な響きを奏でる)

◆来賓あいさつ：愛知県弁護士会会長(予定)

◆参加チケット：一般 前売1300円(当日1600円)

中高大生・障がい者・年金生活者 前売900円(当日1200円)

※チケットは保険医協会事務局でも取り扱いします。ご希望の方は、ご連絡ください。(電話052-832-1346、FAX052-834-3584)

◆主 催 愛知憲法会議

◆問合先 080-3633-9086 kenpou@poem.ocn.ne.jp

http://www1.ocn.ne.jp/~kenpou/index.htm

◆後 援：名古屋市